教科名	芸術	科目	書道Ⅰ	単位	１単位

担当者　神戸雅史

１．教科書および副教材・参考書

書Ⅰ（教育図書）

２．授業の目標および内容

２年次「書道Ⅰ」では「漢字の書」を学習します。

「漢字の書」では楷書と行書の古典の臨書を中心に行います。

楷書では「孔子廟堂碑」「九成醴泉銘」「雁塔聖教序」「顔氏家廟碑」を扱い、行書では「蘭亭序」を取り上げる予定です。

それぞれの古典の特徴を捉え、多様な表現方法を習得することを目標とします。その習得した技術を元に創作を行い、書初めとして書きます。

また、制作を通して感性や発想力を高めていきたいと考えています。

臨書・創作ともに自己評価・相互評価・授業者の評価など様々な角度から自己の作品を分析し、次の作品へとつなげていきます。

また、他者の作品や古典・古筆を鑑賞することで鑑賞の基礎的な能力も高めていきます。

書写と書道の違い、書体の変遷、文房四宝などの用具・用材、中国書道史、日本書道史にも触れることで、様々な角度から「書道」への興味・関心を高めていきたいと考えています。

全国書道展（岐阜女子大学主催）、和洋女子大学競書大会、千葉県小・中・高書き初め大会の展覧会にも出品する予定です。

３．試験について

	１学期		２学期		３学期
定期試験	一次　なし	二次　なし	一次　なし	二次　なし	期末　なし
学力試験	第１回　なし		第２回　なし		第３回　なし

内容・難易度について

①定期試験：なし

②学力試験：なし

４．課題・補習について

書道系の大学への進学を目指す生徒や書の力を高めたい生徒に関して、希望に応じて始業前や昼休み、放課後に、添削や補習を行います。また、授業内で応募するコンクールについても希望する生徒に関しては授業以外にも添削指導を実施します。

５．評価の視点

制作過程と作品を中心に評価します。

用具類の忘れ物や授業に対する姿勢などと総合して評価します。

授業計画

学期	単元	学習内容	備考
1	ガイダンス	書道Ｉを学ぶ上での約束事や意義を説明します。また、用具・用材の配布を行います。	
	書へのいざない	書写と書道の違いを学びます。	
	書道の基本	姿勢や持ち方の確認をします。	
	楷書	楷書の古典の臨書 ・虞世南「孔子廟堂碑」 ・欧陽詢「九成宮醴泉銘」	【１学期　提出作品】 １孔子廟堂碑　臨書 ２九成宮醴泉銘　臨書
2	楷書	楷書の古典の臨書 ・褚遂良「雁塔聖教序」 ・顔真卿「顔氏家廟碑」	
	臨書から創作へ	臨書から創作への手順を確認し、書初めをします。	【２学期　提出作品】 １雁塔聖教序　臨書 ２顔氏家廟碑　臨書
3	王羲之	「書聖」と呼ばれる由縁を学びます。	
	行書	行書の古典の臨書 ・王羲之「蘭亭序」 ・王羲之「蘭亭序」双鉤填墨	【３学期　提出作品】 １蘭亭序　臨書